

別記様式7

避難器具概要表

防火対象物の概要											
名称					所在						
用途					階数	地上	階	地下	階	塔屋	階
主要構造部	・耐火構造・準耐火構造・その他()					延べ面積					
避難器具の概要											
階別	床面積	用途	収容人員	無窓該当	階段の数	減免数	設置数	避難器具の種別(個数)			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
								は()・す()・ロ()・棒()・橋()・タ()			
避難器具の種別											
認定番号等	第～号			第～号			第～号				
設置場所の状況 (用途、構造等)											
開口部の大きさ 縦×横 (cm)	×			×			×				
腰高 (cm)											
操作面積 (㎡)											
降下空間の障害	・有・無			・有・無			・有・無				
固定位置											
固定方法											
固定部材にかかる設計 荷重 (kN)	kN			kN			kN				
固定部材の許容応力 (kN)	kN			kN			kN				
その他											

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。
- 3 避難器具の種別(個数)欄は、「は」は避難おしご、「す」はすべり台、「ロ」は避難ロープ、「棒」はすべり棒、「橋」は避難橋、「タ」は避難タラップを表し、避難器具の種別の後の()内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。